



平成 24 年 11 月 2 日

各 位

上場会社名 株式会社 サンユウ
 代表者 代表取締役社長 上野 隆
 (コード番号 5697 大証二部)
 問合せ先責任者 取締役財務部長 西村 圭二
 (TEL 072-858-1251)

平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び
 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 24 年 8 月 3 日に公表いたしました平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日）の業績予想と実績値に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成 25 年 3 月期（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）の通期業績予想の修正を行いましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 3 月期第 2 四半期（累計）業績予想値と実績値との差異

連結業績予想値と実績値との差異（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,700	0	△10	△60	△10.03
実績値 (B)	7,214	△68	△59	△96	△16.07
増減額 (B - A)	△485	△68	△49	△36	—
増減率 (%)	△6.3	—	△499.6	△60.2	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 3 月期第 2 四半期)	7,274	96	88	△35	△5.94

個別業績予想値と実績値との差異（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,840	120	110	60	9.93
実績値 (B)	6,474	71	66	42	6.95
増減額 (B - A)	△365	△48	△43	△17	—
増減率 (%)	△5.3	△40.8	△39.2	△30.0	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 3 月期第 2 四半期)	6,790	250	258	142	23.56

2. 平成 25 年 3 月期の通期業績予想の修正について

通期連結業績予想数値の修正（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	16,050	170	160	20	3.34
今回修正予想 (B)	15,080	150	150	10	1.67
増減額 (B－A)	△970	△20	△10	△10	－
増減率 (%)	△6.0	△11.8	△6.3	△50.0	－
(ご参考)前期実績 (平成 24 年 3 月期)	14,839	183	166	△29	△5.00

通期個別業績予想数値の修正（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	13,900	300	290	170	28.12
今回修正予想 (B)	13,120	290	280	160	26.47
増減額 (B－A)	△780	△10	△10	△10	－
増減率 (%)	△5.6	△3.3	△3.4	△5.9	－
(ご参考)前期実績 (平成 24 年 3 月期)	13,702	441	443	270	44.67

3. 修正の理由

(1) 第 2 四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異

当第 2 四半期累計期間の自動車業界はエコカー補助金効果もあり堅調に推移いたしました。建機・産機業界は海外経済の減速や円高を背景に輸出が減少し低迷したことから、当社グループの業績も下振れせざるを得ませんでした。また、販売価格面においては、製品価格の下落を余儀なくされました。

これらにより、単体の売上高は主に建機・産機業界向け販売が下振れしたこと及び製品価格の下落幅が予想を上回ったことなどにより、予想額を365百万円下回りました。

利益面におきましては、エネルギーコストの高騰による諸資材購入価格の上昇に加え生産減に伴い製造コストが上昇したこと、在庫評価損の計上及び株価下落により退職給付費用の積み増しなどにより、予想額を営業利益は48百万円、経常利益は43百万円、当期純利益は17百万円それぞれ下回りました。

連結の業績につきましては、単体の下振れに加え連結子会社においても同様な事業環境下にあり、売上高及び利益も予想額を下回りました。

(2) 通期業績予想の修正

通期につきましては、海外経済の減速に加え、対中国関係の動向等対面業界の先行きは不透明な状況にあり、連結・単体とも売上高は前回予想を下回る見込みであります。

利益面におきましては、単体は、製品価格の下落時における在庫の払出し単価が当初計画ほど高くなり原価率が低下するため、前回予想から10百万円の減益にとどまる見込みであります。

また、連結も単体の減益を受け、前回予想を下回る見込みであります。

(注) 本資料に掲載しております業績予想等につきましては、現時点で得られました情報に基づき算定したものでありますので、実際の業績は今後様々な要因により本資料の見通しとは異なる結果となる可能性があります。

以上